

特集

第2回

英彦山修験道トレイル in 東峰村



10月2日(日)に開催された
トレイルランニングの大会
「**英彦山修験道トレイル in 東峰村**」
の詳細をお知らせします！！



トレイルラン
とは？

舗装されていない山道などを走るアウトドアスポーツです。緑あふれる山道を駆け抜けていく気持ちよさやアップダウンの激しいコースを走破すること等に魅力があり、その人気は年々高まりをみせています。

レースの距離は10km以内のものから100kmを超えるものまであり、日本各地、その地域特有の地形を活かしたコースが設定されています。ちなみに、日本で最長のレースは「ウルトラトレイル・マウントフジ(通称:UTMF)」という大会で、富士山の周りの山岳地帯を走るもので168kmあります。

東峰村でも、昨年10月に初めてトレイルランの大会を開催しました。東峰村は、かつて英彦山修験道の修行場として栄えた歴史があり、修験者たちが駆け巡った峰入り古道があります。この峰入り古道のルートを活用してトレイルランのコースが設定されました。



半袖半ズボンの軽装です！！
かすり傷なんて当たり前！！



バランス感覚重要！！



こんな険しい山道を走り抜きます！！

Guest Runner

今回の大会にはゲストランナーのお二人を迎えタイムを競いました！！



おにつか ともりの
鬼塚 智徳 さん
うきは市生まれ
佐賀県在住
九電工陸上競技部所属



みやざき きみの
宮崎 喜美乃 さん
山口県生まれ
東京都在住
ミウラドルフィン勤務

英彦山修験道トレイル in 東峰村 コースマップ

— ロングコース 距離約 36km 累積標高約 3,600m — ショートコース 距離約 24.5km 累積標高約 2,500m





■ 前夜祭

10月1日（土）の夜に、ほうしゅ楽舎にて選手やスタッフなど71名が参加し前夜祭が行われました。大会本番の健闘を祈って乾杯！地元食材を活かした多くの料理や米の重量当てゲーム、カネハ窯の熊谷裕介さんによる陶芸披露もあり、会場は大盛り上がりで終わりました。

協力隊の津田さん、高瀬さんによる料理



熊谷裕介さんによる陶芸披露



米の重量当てゲーム



大会本番の健闘を祈って乾杯

■ 大会当日



当日の大会では参加者252名が、旧小石原小学校からスタートしロングコース36km、ショートコース24.5kmを駆け抜けました。

前回より距離が延び（前回約15km）、完走率はなんと約20%。選手の多くが「過酷だった、きつかった」とコメントし、修験道の名のごとくかなり厳しいコースとなりました。

そんな中、次回もリベンジしたい、トレーニングをして臨みたいという前向きな意見もいただきました。

当日まで多くのスタッフやボランティアの方の協力のもと、今回のトレイルランを無事終えることができました。

